

# 自転車先進都市おかやま

## 実行戦略

2012.8



誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る都市  
『自転車先進都市おかやま』を目指して





はじめに.....	1
<b>1 自転車利用環境等の現状と課題.....</b>	<b>3</b>
1-1 自転車利用の特性.....	4
1-2 自転車利用環境等の現状.....	5
1) 自転車走行環境にかかわる現況	
2) 自転車駐輪環境にかかわる現況	
3) 自転車利用促進にかかわる現況	
4) 自転車利用振興にかかわる現況	
5) 自転車利用のルール・マナーにかかわる現況	
1-3 自転車利用環境等の問題点と課題.....	27
<b>2 実行戦略の基本的方向.....</b>	<b>28</b>
2-1 自転車先進都市を目指す意義.....	29
1) 将来都市像の実現に向けた自転車先進都市を目指す意義	
2) 自転車先進都市の実現に向けた視点	
2-2 実行戦略の考え方.....	34
1) 現況課題を踏まえた3つのキーワード	
2) 自転車先進都市としてのコンセプト	
3) コンセプトと5つの施策分野	
2-3 実行戦略の基本方針.....	37
1) 《空間》戦略の基本方針	
2) 《時間》戦略の基本方針	
3) 《連携》戦略の基本方針	
<b>3 自転車先進都市の実現に向けた実行戦略.....</b>	<b>41</b>
3-1 実行戦略の実施策.....	42
1) 【走る】道路状況に応じた安全な走行環境の実現	
2) 【停める】駐輪ニーズへの適正な対応による駐輪対策	
3) 【使う】公共交通と組合わせた自転車の利用促進	
4) 【楽しむ】地域・観光活性化に向けた自転車利用振興	
5) 【学ぶ】自転車利用のマナーアップ	
3-2 実行戦略の推進方策.....	55
1) 実施策の推進プログラム	
2) 数値目標の設定	
3) 進行管理体制	
<b>4 実行戦略の展開方策〈都心部ショーケースの形成〉.....</b>	<b>58</b>
4-1 自転車走行環境整備を軸とした展開.....	59
1) 自転車走行環境整備の展開シナリオ	
2) 自転車走行空間ネットワークの全体計画	
3) 早期整備路線の具体化	
4) 安全な走行環境の実現に向けた総合的な取組み	
4-2 自転車駐輪対策を軸とした展開.....	88
1) 自転車駐輪対策の展開シナリオ	
2) 自転車駐輪対策の全体計画	
3) 早期対策エリアの具体化	
4) 施設整備と連携した総合的な取組み	
4-3 コミュニティサイクルの導入を軸とした展開.....	106
1) コミュニティサイクルの導入シナリオ	
2) ステップ1における導入システムのあり方	
3) ソフト方策等による総合的な取組み	
<b>今後に向けて.....</b>	<b>119</b>



はじめに



# はじめに

温暖で晴れの日が多く、また、市域南部に向けて平坦な地形が広がっている岡山市は、全国どの都市と比較しても、自転車利用に適した環境にあります。

しかしながら、これまで、『自転車』は、ともすると邪魔者扱いされてきたきらいがあります。景観を損ね、通行の邪魔になる放置自転車、道路を我が物顔に走り回り歩行者にとっても車にとっても危険な迷惑自転車など、自転車に負の印象を抱いている市民も決して少なくないのが実態ではないでしょうか。

- 一方で、近年、『自転車』は、以下のように様々な形で見直されてきております。
- －地球温暖化などの環境悪化に対する環境に優しい乗り物としての“自転車”
  - －肥満対策など心身の健康づくりに効用の高い乗物としての“自転車”
  - －多くの人が行きかう賑わいのある街なかを実現する街づくりのツールとしての“自転車”
  - －風景を味わいながらサイクリング等を楽しむ余暇の道具としての“自転車”

現に、欧米諸国では、多くの都市において、こうした自転車の有する特性を活かし、競い合うようにサイクリング道路ネットワークの整備や、新たな公共交通手段であるコミュニティサイクルの導入などの施策を積極的に進め、街づくりに役立てるばかりか、都市そのもののイメージやブランド力の向上に努めています。

一方、わが国においても、これまで道路交通における自転車の位置づけが明確ではなく、走行空間が不足し、自転車関連事故が増加傾向にあるなど自転車利用環境等の総合的な整備が急務となっている中、現在、国において、安全で快適な自転車利用環境等の創出に向けた検討が進められております。

こうした状況の中、本市では、平成 21 年 10 月に策定した岡山市都市交通戦略において、人と環境に優しい交通体系を構築することを今後の交通政策の目標とする中で、自転車を本市にふさわしい交通手段の一つと位置付けました。

これまで述べてきたとおり、自転車政策に取り組むにあたっては、その交通手段としての機能だけでなく、まちづくり全般にかかわる様々な役割を勘案する必要があります。こうした自転車の特性を踏まえ、自転車政策を総合的に推進するため、今般、『自転車先進都市おかやま実行戦略』を策定することといたしました。

来る 2014 年には、本市初となる世界規模の国際会議、「国連 ESD の 10 年最終年会合」が開催され、国内外から多くの人々が本市を訪れることが期待されています。

本会合の開催も見据えながら、本実行戦略に基づき、市民、財界、学界、各種関係団体など、各界各層との連携、協働のもと、自転車先進都市おかやまを目指して取り組んでまいります。

平成 24 年 8 月  
岡山市

出典：H23. 10. 25 警察庁通達

# 「自転車先進都市おかやま実行戦略」の構成

## はじめに

「自転車先進都市おかやま実行戦略」策定の背景や趣旨について記載



## 1 自転車利用環境等の現状と課題

岡山市の自転車利用にかかわる全般的な特性を踏まえ、「取組み経緯」、「利用者評価」、「問題点」について整理

- 1-1 自転車利用の特性
- 1-2 自転車利用環境等の現状
- 1-3 自転車利用環境等の問題点と課題



## 2 実行戦略の基本的方向

岡山市の将来都市像の実現に向けて、自転車先進都市を目指す意義およびコンセプトを設定するとともに、後述の実施策を効果的に展開するための考え方（着眼点）について、3点に着目して整理

- 2-1 自転車先進都市を目指す意義
- 2-2 実行戦略の考え方
- 2-3 実行戦略の基本方針



## 3 自転車先進都市の実現に向けた実行戦略

5つの施策分野毎に目標達成に向けた14の実施策を設定し、その概要とプログラム、数値目標について整理

- 3-1 実行戦略の実施策
- 3-2 実行戦略の推進方策



## 4 実行戦略の展開方策〈都心部ショーケースの形成〉

実施策のうち、第一段階として取り組む都心部における対策について、その展開方策を検討

- 4-1 自転車走行環境整備を軸とした展開
- 4-2 自転車駐輪対策を軸とした展開
- 4-3 コミュニティサイクルの導入を軸とした展開

※展開方策については、関連整備状況や自転車利用動向等の把握を随時行いながら、必要に応じ、計画の修正・更新を行っていく



## 今後に向けて

今後の事業推進に向けた考え方等について記載

※「自転車利用環境等」とは：走行空間や駐輪施設だけでなく、ルール・マナーや自転車活用イベント等の自転車利用にかかわる多様な要素を総合的に捉えた表現として用いる。